

# ソフトの起動と最初の設定

## 1. ソフトの起動

実行プログラム kaiH6D1.exe を開くと、ソフトが起動して次のような画面になります。



(注意)

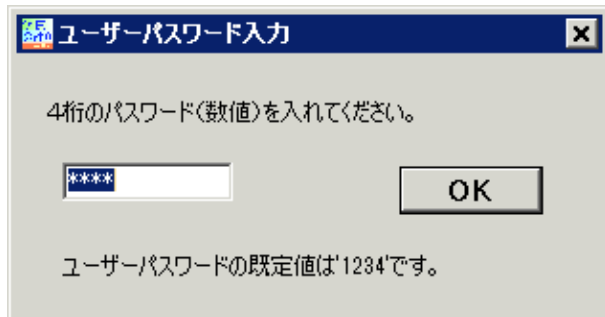
- 収支会計 D1 のフォルダはどこに置いても実行できますが、**program files** の中に置くと起動時に通常起動すると、バーチャルファイルを保管するようになり後々管理が大変になりますので、推奨は C ドライブか D ドライブの直下がわかりやすいと思います。
- サーバーに“収支会計 D1”のフォルダを置いて運用する場合は、同時のソフト使用はしないでください。出来るだけローカルパソコンで運用してください。
- ソフトの起動の途中で、“セキュリティ警告”が出る場合がありますが、“許可”する方向で選択してください。Windows10 の場合は、“詳細”のボタンをクリックすると、“実行”許可のボタンが出ます。

## 2. ユーザーパスワード

ユーザーパスワードの入力画面では、そのまま“OK”ボタンを押してください。

このユーザーパスワードは後で、

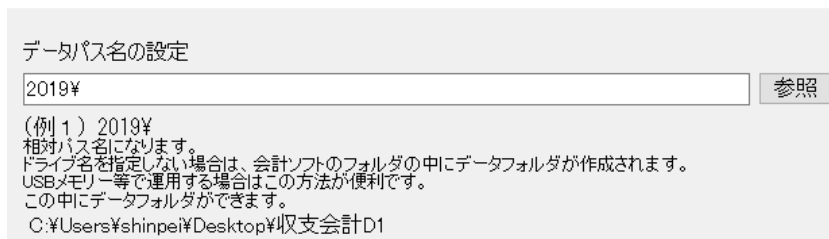
初期設定メニュー ⇒ 会計期首 の画面で変更できます。



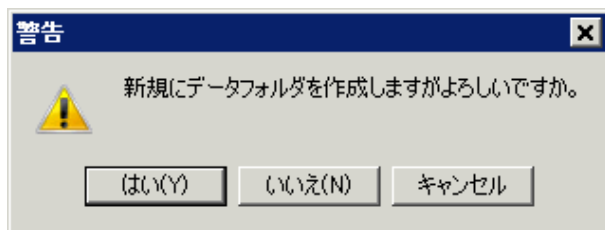
## 3. データパス名の設定

データパス名は、下記例のように西暦年度を入れてください。

データパス名の設定



次のダイアログ画面では、新規にデータフォルダを作成しますので、“はい”を選択します。



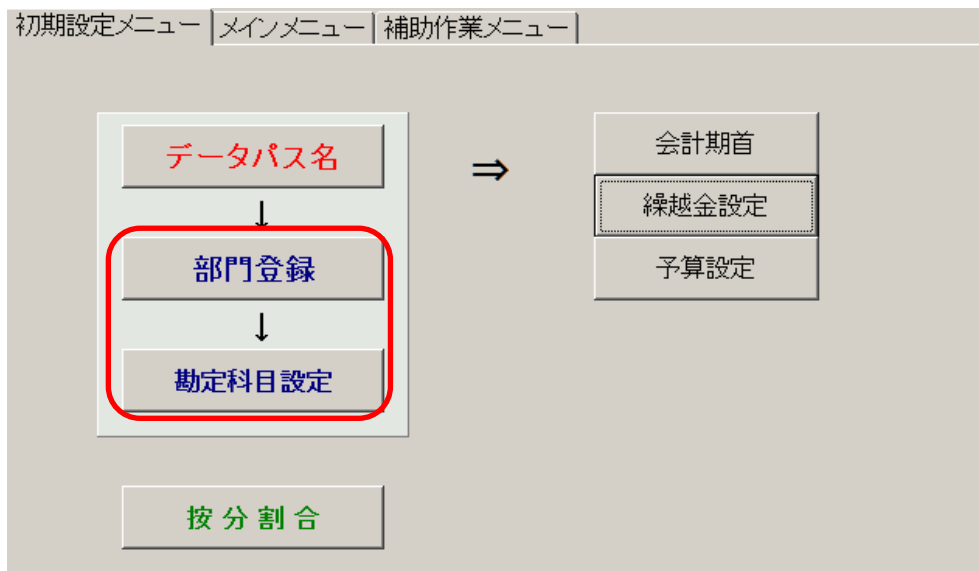
### 【補足】

- データパス名は、**絶対パス名**、**論理パス名**の設定も出来ませんが、これらの設定はユーザー様の自己管理のもとで運用してください。
- データパス名を 2019sample¥ とすると、サンプルデータになります。

#### 4. 初期設定メニューの画面

以上の最初の設定が終わると、このような画面になりますが、新規にデータパス名を設定した場合は、すぐに **部門設定** の画面に自動で入ります。

最初に、部門登録と勘定科目の設定を行ってください。



次の説明を見てください。